

お問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部海洋情報課

沿岸域海洋情報管理室

主任沿岸情報官 稲積 忍

03-5500-7132



平成24年8月1日

海上保安庁

スマートフォンから全国の海岸の性状が見られるようになりました

海上保安庁では、油流出事故現場で速やかに保護すべき海岸の情報を、スマートフォンでも見るできるようになりました。

沿岸海域においてタンカー事故等の油の流出を伴う事故が発生した場合、海岸に油が漂着すると環境に深刻な影響を及ぼすことから、国や地方公共団体、漁業関係者等は連携し、迅速・的確に油の除去等の措置を行う必要があります。

海上保安庁では、砂浜、礫浜等の海岸の性状や植生の有無等に応じて全国の海岸を色と数字で10段階にランク付けし、漂着油から優先的に保護すべき海岸を判断するための情報（ESI情報）を提供してきました。

従来は印刷物やパソコン向けのインターネットサービスを通じてESI情報を提供してきましたが、関係者が現場で速やかに情報を把握し、よりの確な措置を講じることができるよう、8月1日からスマートフォン向けのESI情報の公開を開始しました。

事故の発生時だけでなく、沿岸海域の環境保全を計画的に進めていく上でも役立つことを期待しています。

大規模流出油関連情報（スマートフォン版）：

http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNet_mobile/top.htm



<主な機能>

拡大及び縮小、ESIのランクや付近の写真の表示、現在地の表示（スマートフォンのGPS機能利用）